

## 第5次綾部市総合計画前期基本計画 目標とする指標の達成状況

綾部市では、平成23年に第5次綾部市総合計画を策定し、「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を将来都市像と定め、その実現のため各種施策の推進に努めています。

平成27年度までの5か年を計画期間とする前期基本計画において、施策の進捗度を客観的に測定するため140項目の目標とする指標を定め、その進捗状況を確認しながら達成に向けた取組を進めてきました。平成27年度末で前期計画期間が終了したことから、指標の達成状況を取りまとめましたのでお知らせします。

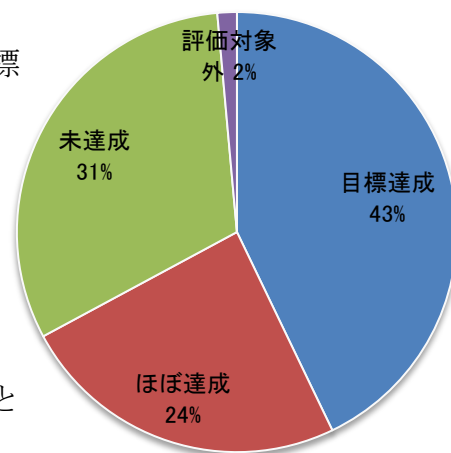
### (1) 評価の説明

評価	説明
目標達成	実績値が目標値を達成しているもの
ほぼ達成	実績値が目標値の90%以上のもの
未達成	実績値が目標値の90%未満のもの
評価対象外	集計方法の変更など数値が把握できないもの

※前期基本計画中の累計以外の評価対象数値は平成23～27年度の平均値と平成27年度実績値の高い値を評価対象として算出し評価しています。

### (2) 目標とする指標の成果

前期期間（平成27年度末時点）における目標とする指標の取組結果について、全140項目のうち目標達成が60項目（43%）、ほぼ達成が34項目（24%）、未達成が44項目（31%）となり、全項目の約7割が目標を達成又はほぼ達成する結果となりました。一方、未達成が約3割あり、第5次綾部市総合計画の後期5か年においても引き続き目標達成に努めるとともに、指標の実績を確認する中でPDCAサイクルに基づいて施策を推進することとしています。

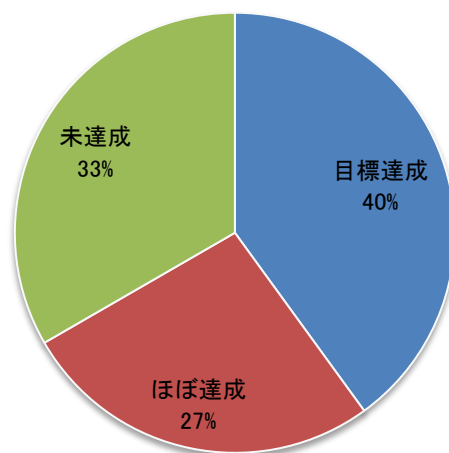


章	目標達成	ほぼ達成	未達成	評価対象外	総計
1章	6	4	5		15
2章	11	8	10		29
3章	11	4	6		21
4章	10	7	7	2	26
5章	15	6	15		36
6章	4	5			9
計画推進	3		1		4
総計	60	34	44	2	140
割合	43%	24%	31%	2%	

### (3) 各章ごとの前期期間中の取組結果

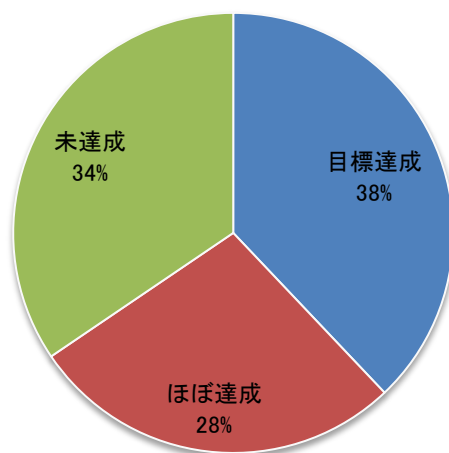
#### 第1章 市民が輝き共に築くまちづくり

- この章では、人権尊重社会の実現、市民活動の促進、男女共同参画社会の実現、平和の発信と交流について、計画を定めています。
- 15項目のうち67%の10項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- あやべ特別市民制度登録数が2,156人となり、目標の1,500人を達成しました。また、人権を考えるセミナー参加者数が1,353人となり、目標の1,000人を達成しました。一方、審議会・委員会などにおける女性委員の比率は目標の40%に対して32.5%で、更なる取組が必要です。



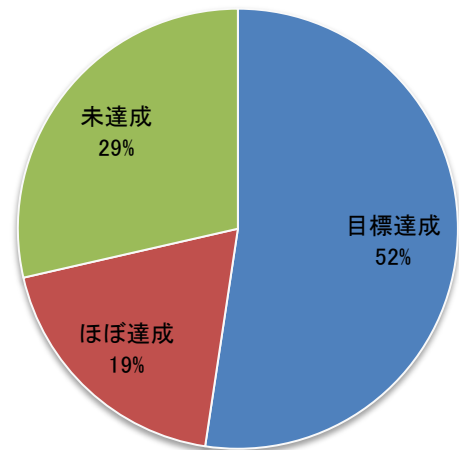
#### 第2章 心豊かな人と文化を育むまちづくり

- この章では、幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興、スポーツの振興について、計画を定めています。
- 29項目のうち66%の19項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- 小学校耐震化率が100%を達成しました。また、天文館入館者数が11,526人となり、目標の10,200人を達成しました。一方、里山サイクリング参加者数は目標の500人に対して449人で、更なる取組が必要です。



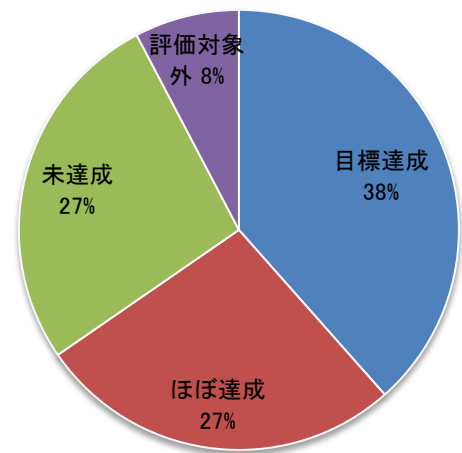
### 第3章 支えあい安心して暮らせるまちづくり

- この章では、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、地域福祉社会の実現、保健の推進、医療体制の充実、社会保障の適正運営について、計画を定めています。
- 21項目のうち71%の15項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- 地域密着型サービス施設数が18施設となり、目標の16施設を達成しました。また、清山荘入館者数が31,991人となり、目標の27,000人を達成しました。一方、ウォーキングイベント参加者数は目標の600人に対して489人で、更なる取組が必要です。



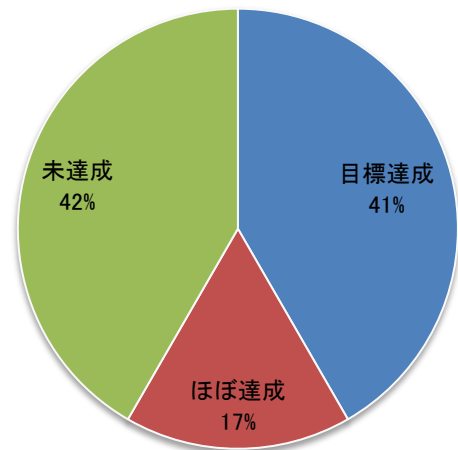
### 第4章 豊かさにとぎわいを生み出すまちづくり

- この章では、農林業・内水面漁業の振興、農村の活性化、商業の振興、工業の振興、観光交流の推進、地元雇用の確保について、計画を定めています。
- 26項目のうち65%の17項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- 有害鳥獣被害面積が目標の年間6,708aに対し2,558aとなり、被害を大幅に削減することができました。また、日帰り観光客数が597,585人となり、目標の430,000人を達成しました。一方、宿泊観光客数は目標の65,000人に対して62,372人で、更なる取組が必要です。



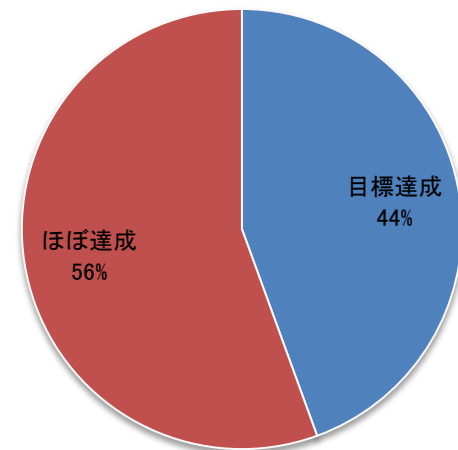
## 第5章 自然豊かで安全なまちづくり

- この章では、環境の保全と創造、廃棄物対策の推進、上水道の安定供給、下水道の整備促進、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。
- 36項目のうち58%の21項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- 汚水処理人口普及率が75.7%となり、目標の70%を達成しました。また、可燃ごみ収集量が6,500t以下の目標に対して5,999tと達成しました。一方、自主防災組織数は目標の196組織に対して143組織で、更なる取組が必要です。



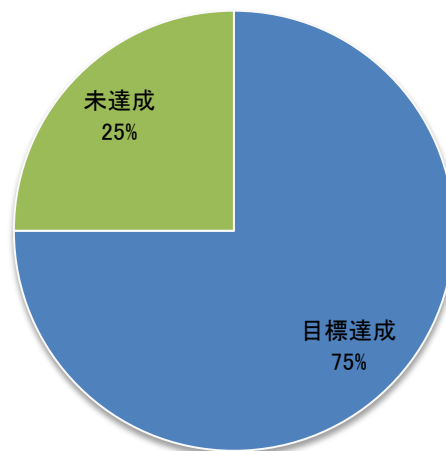
## 第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり

- この章では、土地利用と市街地の形成、住環境の整備、道路の整備、公共交通の充実、公園・緑地空間の充実、斎場・墓地の適正管理、地域情報化の推進について、計画を定めています。
- 9項目のうち100%の9項目が目標達成もしくは、ほぼ達成となりました。
- 都市公園の1人当たり面積が19㎡となり、目標の18㎡を達成しました。一方、あやべ桜が丘団地販売区画数は目標の459区画に対して422区画で、更なる取組が必要です。



### 計画推進のために

- この章では、第5次綾部市総合計画の推進のために必要な、開かれた市政の推進、効果的な行政運営、健全な財政運営、広域連携の推進について、計画を定めています。
- 4項目のうち75%の3項目が目標達成しました。
- 地方債発行額／地方債元金償還額（普通会計）が0.819で、目標の1.0未満を達成しました。また、コミュニティFM放送局行政情報提供件数が1,769件となり、目標の1,100件を達成しました。一方、情報公開・個人情報保護制度ウェブサイト情報数は目標の8,000件に対して4,057件で、更なる取組が必要です。



第5次綾部市総合計画前期基本計画 総括評価

※目標達成：100%以上、ほぼ達成：90%以上、未達成：90%未満（27と平均達成率のうち高い方を評価対象）

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
1	1・1人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	6,019人	6,500人	5,801人	5,579人	7,153人	5,165人	6,146人	94.6%	ほぼ達成	<p>デイサービス、パソコン講座、人権講演会など各種講座を開催し参加者相互の交流等を通じ人権問題解決に努めた。</p> <p>講座内容を参加者のニーズに合わせて決定し、多くの参加者があるよう工夫した。ただし、若年層の参加が少ないという課題はある。</p>
2	1・1人権尊重社会の実現	社会教育課	全綾部市人研教育研究会参加者数	年間	747人	800人	705人	756人	694人	624人	684人	86.6%	未達成	<p>長年開催している事業であり、綾部市における同和・人権問題解決に向けた取組の原点となる事業である。</p> <p>参加者が減少しており、人権教育推進連絡協議会参画団体をはじめ多くの市民に参加を呼び掛けるとともに、参加しやすく学びにつながる内容を工夫する必要がある。</p>
3	1・1人権尊重社会の実現	社会教育課	人権を考えるセミナー参加者数	年間	857人	1,000人	1,023人	1,141人	1,304人	1,241人	1,353人	135.3%	目標達成	<p>同和問題をはじめとする様々な人権問題をテーマに、毎年8月～12月にかけて5回開催し、近年は1,000人を超える参加をいただいている。今後も同和問題を基軸にしながら研修を深めるとともに、様々な市民に参加いただけるように引き続き共催団体を募り実施していく。</p> <p>目標は達成できた。</p>
4	1・1人権尊重社会の実現	社会教育課	人権教育講演会参加者数	年間	438人	450人	大雪中止	436人	437人	424人	440人	97.8%	ほぼ達成	<p>市、教育委員会、人権教育推進連絡協議会の共催事業として実施しており、毎年市民や各種団体から約400名以上の参加がある。現在の取組を踏襲しながら、今後市民センターの廃止に伴い他会場への変更も検討していく必要がある。</p> <p>目標はほぼ達成できた。</p>
5	1・1人権尊重社会の実現	社会教育課	公民館人権研修参加者数	年間	1,158人	1,300人	1,369人	1,485人	1,239人	1,085人	1,055人	95.9%	ほぼ達成	<p>公民館が実施する人権研修会等を支援するとともに、地域教育推進員の研修会等を通じて指導者の育成に取り組み、研修会の内容の充実に努めた。</p> <p>目標はほぼ達成できた。</p>
6	1・2市民活動の促進	市民協働課	自治会加入世帯率	—	83%	85%	82.2%	82.1%	80.8%	81.2%	80.0%	95.6%	ほぼ達成	<p>自治会への加入率が低下する中で、自治会活動への支援として自治会報償金・自治会連合会補助金を交付し自治会組織の支援を行った。</p> <p>平成27年には、連合会補助金の見直しにより増額を行い、自治会活動の活性化を支援した。</p>
7	1・2市民活動の促進	市民協働課	コミュニティ助成事業数	年間	9件	15件	4件	9件	14件	2件	10件	66.7%	未達成	<p>年度により実施団体数にばらつきがあるものの、多くの地域でコミュニティ施設の維持修繕を中心に活用されている。</p> <p>平成25年度の変更改正もあり、平成23～27年の5年間で39件と多くの団体に活用された。</p>
8	1・2市民活動の促進	市民協働課	ボランティア総合センター登録団体数	累計	92団体	100団体	103団体	108団体	108団体	103団体	116団体	116.0%	目標達成	<p>団体構成員の高齢化に伴い、登録会員数は減少してきているが、小規模なサロンなど新たな団体の登録などもあり登録団体が増加した。</p> <p>大雨被害等災害の発生等により、自助・共助の気運が高まる中で、ボランティア活動に新たに取組む動きもみられた。</p>
9	1・2市民活動の促進	市民協働課	ボランティア総合センター登録団体会員数	累計	2,350人	2,600人	2,669人	2,926人	3,007人	3,038人	2,595人	109.5%	目標達成	<p>新たな団体の登録などもあり登録団体は増加したものの、団体構成員の高齢化から活動を休止するなどの理由により会員数は減少している。</p> <p>大雨被害等災害の発生等により、自助・共助の気運が高まる中で、ボランティア活動に新たに取組む動きもみられた。</p>
10	1・2市民活動の促進	市民協働課	ハートセンター利用件数	年間	372件	420件	461件	427件	358件	262件	280件	85.1%	未達成	<p>ボランティア団体の会議等で多数の利用があるが、利用者の高齢化に伴い、バリアフリー化のできていない当施設の利用は減少傾向にある。</p> <p>ボランティア団体の活動の拠点として多く利用されてきたが、施設の利便性に課題が見られるようになってきている。</p>



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
11	1・3男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会等における女性委員の比率	—	28.8%	40.0%	27.5%	30.5%	29.7%	30.1%	32.5%	81.3%	未達成	年度当初、各課に積極的な登用を依頼。任期満了による委員委嘱の際、人権推進課合議、相談による女性委員登用の配慮を促した。 庁内各課において女性委員を積極的に登用し、女性委員の比率の向上を目指すという意識を更に向上する必要がある。
12	1・3男女共同参画社会の実現	人権推進課	男女共同参画講座参加者数	年間	316人	550人	617人	289人	295人	280人	318人	65.4%	未達成	様々な分野の講座を開催し、また、受講対象者についても、市民、団体、事業所等を考慮しながら、意識改革の推進を図った。 参加者の固定化が見られ、若年層や男性の参加が少なく、学習意欲の向上や学習機会の充実を図る必要がある。
13	1・4平和の発信と交流	企画政策課	地球市民の集い参加者	年間	150人	200人	180人	180人	120人	100人	850人	425.0%	目標達成	イベント、講演等により平和と環境の日をPR。平成23年度：国連UNHCR協会事務局長講演、平成24年度：フラメンコ舞台、平成25年度：山室建治氏講演、平成26年度：映画「塔のある街」上映、平成27年度：世界連邦日本大会・中沢新一氏講演 講演等により平和を啓発できた。特に世界連邦日本大会は昭和45年、平成12年に次いで綾部市で3回目の開催。多くの入場者があり、本市が日本で初めての世界連邦宣言都市であること等を周知できた。
14	1・4平和の発信と交流	秘書広報課	あやべ特別市民制度登録数	累計	820人	1,500人	1,323人	1,604人	1,863人	2,063人	2,156人	143.7%	目標達成	会員情報紙（ニュースレター）の発行やホームページの開設、メールマガジンの配信などによる情報発信、ふるさと製品の選択制や施設利用などの会員特典の充実、さらには特別市民対象のふるさと訪問ツアーやふるさと大使の任命など、きめ細かな制度により会員数の増加を図ることができた。 綾部市からの情報発信や交流促進とともに、地域特産物の振興など地域振興にも大きく貢献することができた。なお、会員数の伸びは鈍化していることから、適切な目標数を検討する必要がある。
15	1・4平和の発信と交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	765人	900人	833人	720人	840人	959人	960人	106.7%	目標達成	日本語教室等の参加者数（学習者、相談者、ボランティアスタッフ延べ人数）は、平成24年度に減少したものの、全体としては増加傾向にあり6.7%増を達成した。 綾部国際交流協会に委託し、本市に居住する外国人との交流等を通じ、相互の理解を深めるとともに、住みやすい環境づくりに努めた。
	2・1幼児教育の充実		なし											
16	2・2学校教育の充実	学校教育課	小学校耐震化率	—	71%	100%	92%	92%	92%	100%	100%	100.0%	目標達成	平成27年度末で上林小学校の改築を完了。計画的に耐震化を進めることができた。
17	2・2学校教育の充実	学校教育課	中学校耐震化率	—	48%	76%	68%	75%	83%	86%	88%	115.8%	目標達成	平成27年度末で上林中学校の改築を完了。東綾中学校の改築事業着手（平成26年度：設計、27年度：着工）。 前期計画は目標達成であるが、東綾中学校の改築を進め、後期計画期間において、学校施設の耐震化を完了したい。
18	2・3社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	5,118人	5,200人	4,434人	4,243人	4,014人	3,156人	3,314人	73.7%	未達成	高齢者の生きがいと地域社会への参加の促進を図るため、高齢者学級を各地区で開設し、学習活動を促進した。 老人クラブ連合会が解散される等参加者も減少しているのが現状である。今後も地区老人クラブ連合会の解散も想定されるが、公民館等との連携を強めて、地区の高齢者が集い、学び機会として高齢者学級を開催していく。
19	2・3社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	390人	400人	390人	410人	398人	382人	469人	117.3%	目標達成	障害の種別により5講座を開催しているが、高齢化による参加者数に大きな変化はない。平成27年度は青年学級の参加が増えたことで全体として増加した。通常の講座の他、視覚障害者講座の参加者を中心に「アイアイ合唱団」を結成し、合唱を通じた社会参加を図っている。 目標はほぼ達成できた。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
20	2・3社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	3,709件	4,300件	3,813件	3,914件	3,675件	4,117件	3,924件	91.3%	ほぼ達成	指定管理者により自主事業（公民館活動）を通じて、施設の活用が図られているが、一方では、公民館事業への参加者の減少や自主サークルの高齢化、老人クラブなど地元団体の解散等により、利用件数は減少傾向にある。 前期の目標はほぼ達成できた。
21	2・3社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用人数	年間	91,802人	93,000人	65,887人	65,905人	68,753人	75,137人	60,509人	72.3%	未達成	指定管理者により自主事業（公民館活動）を通じて、施設の活用が図られているが、一方では、公民館事業への参加者の減少や自主サークルの高齢化、老人クラブなど地元団体の解散等により、利用件数は減少傾向にある。 利用人数は未達成だが、件数はほぼ達成ができた。
22	2・3社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	853件	900件	958件	885件	796件	834件	936件	104.0%	目標達成	指定管理施設として、貸館並びに自主事業(中丹アカデミー講座)の推進が図られている。中丹文化事業団を指定管理者とすることで中丹文化会館と一体的な管理運営がなされており、今後も貸館を中心とした運営を図っていく。 前期の目標は達成できた。
23	2・3社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用人数	年間	34,221人	35,000人	31,119人	28,939人	30,119人	31,887人	35,450人	101.3%	目標達成	指定管理施設として、貸館並びに自主事業(中丹アカデミー講座)の推進が図られている。中丹文化事業団を指定管理者とすることで中丹文化会館と一体的な管理運営がなされており、今後も貸館を中心とした運営を図っていく。 前期の目標は達成できた。
24	2・3社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	149,604冊	156,000冊	166,688冊	164,623冊	158,129冊	141,389冊	139,041冊	98.7%	ほぼ達成	平成23年度をピークに年々減少している。学校等に出張するなど利用の促進に努めてきたが、少子化や近隣市図書館の利用拡大の影響を受け減少の傾向にある。今後既存施設で貸出が伸びるよう工夫しながら現状維持するよう努める。 前期の目標はほぼ達成できた。
25	2・3社会教育の充実	社会教育課	図書館蔵書冊数	累計	70,227冊	82,500冊	71,277冊	74,517冊	75,271冊	78,069冊	81,539冊	98.8%	ほぼ達成	新旧の図書の入替えをしながら、少しずつではあるが蔵書数を増やしてきた。しかし、建物の耐久性を考慮すると、現状維持が妥当かと思われる。 前期の目標はほぼ達成できた。
26	2・4青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	1,117人	1,300人	1,131人	997人	1,007人	945人	1,004人	78.2%	未達成	公民館、PTA、学校等が連携した取組として平成16年度から実施しており、定着した事業となっている。 子どもたちへの声かけや見守りの機運を高めるためのきっかけづくりの事業となっている。育成協参画団体をはじめとして、多くの市民に参加を呼びかける必要がある。
27	2・4青少年健全育成の推進	社会教育課	夏の大ジャンボリー参加児童数	年間	110人	110人	92人	85人	100人	96人	115人	104.5%	目標達成	実行委員会形式で各団体にご協力いただき、小学生に自然体験活動の場が提供できている。平成27年度からは奥上林研修センターで実施し、新たな取組も始めた。 前期の目標は達成できた。
28	2・4青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業登録団体数	累計	35団体	50団体	38団体	37団体	36団体	33団体	31団体	70.0%	未達成	子ども会等の活動を支援することにより、子どもたちが様々な体験活動等を経験する機会が確保できた。 少子化により、活動を縮小せざるをえない団体もあり、申請団体数が減少傾向にある。
29	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数	年間	313点	320点	282点	282点	303点	274点	251点	87.0%	未達成	毎年5月に書、日本画、洋画、写真の4部門で開催。会場は市民センター。 出品者の高齢化の影響もあり、基準値を上回ることはできなかったが、ほぼ横ばいで推移している。 少しずつではあるが高校生の出品も増え、入賞されるなど若い世代の活躍が見られ、創作意欲の向上に結びついている。 引き続き、関係団体や高校とも連携を図り、出品数の増加を図りたい。



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
30	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数	年間	1,242人	1,370人	1,180人	1,233人	1,098人	1,065人	912人	80.1%	未達成	毎年5月に書、日本画、洋画、写真の4部門で開催。会場は市民センター。 入場者数については、天候や他のイベントの影響もあるが、依然、多くの方の来場でにぎわうとともに、期間中開催しているギャラリートークについても、いずれの部門も盛況で参加者から好評を得ている。 市民の文化意識の高場につながっており、更なるPRに努め市民の鑑賞の機会を提供していきたい。
31	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数	年間	1,457点	1,500点	1,406点	1,405点	1,574点	1,681点	1,745点	116.3%	目標達成	毎年11月に市民センターで開催。 綾部市文化協会は、協会員の高齢化が進み、会員数が減少傾向にあるものの、活発な文化芸術活動を展開されており、出品数はここ数年増加している。 文化事業の活性化が図られており、市内の文化振興につながっている。引き続き、市内最大の文化活動発表の場として今後も支援していく。
32	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数	年間	5,172人	5,200人	4,917人	5,085人	4,957人	5,139人	5,028人	96.7%	ほぼ達成	毎年11月に市民センターで開催。 綾部市文化協会は、協会員の高齢化が進み、会員数が減少傾向にあるものの、活発な文化芸術活動を展開されており、入場者数も横ばいで推移している。 毎年、多くの市民の方が入場しており、市内の文化振興につながっている。市内最大の文化活動鑑賞の場として今後も支援していく。
33	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	20件	25件	15件	23件	20件	23件	22件	88.0%	未達成	優良建築物を展覧会等の会場として利用する場合の使用料の一部を市が負担している。 年間を通じて書や絵画をはじめとした文化活動の展示、発表の場としての活用が進んでおり、文化振興に寄与している。近接する特産館とも協力をしながら適切な運営に努める。
34	2・5文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	54,248人	60,000人	54,236人	55,325人	53,170人	57,222人	55,502人	92.5%	ほぼ達成	中丹文化事業団において、優れた舞台芸術の公演数を維持するとともに、昨年は市制施行65周年記念として「NHKのど自慢」の番組公開収録を実施。参加型、育成型事業の充実も図っている。 鑑賞事業はもちろんのこと多様化する市民ニーズに応える自主事業を展開しており、文化振興に大きな役割を果たしている。
35	2・5文化・芸術の振興	社会教育課	資料館利用者数	年間	8,026人	10,000人	8,029人	7,552人	7,902人	8,178人	3,863人	71.0%	未達成	特別展示の開催やミニミニ展・ナイトミュージアム・館外講座などで、いろいろな歴史資料を知ることのできる環境づくりに取り組んでいる。また、あらゆる問合せに対してできる限り対応している。 PR不足、リピーターや観光客を呼び込めないことが課題。
36	2・5文化・芸術の振興	社会教育課	天文館入館者数	年間	10,155人	10,200人	9,282人	10,480人	11,311人	10,592人	11,526人	113.0%	目標達成	開館20周年の特別事業を含め、全世代に親しんでいただける催しを企画し、施設の利用拡大に努め、平成27年度はこの10年間では最も多い入館者数となった。 □コミによるPR効果もあり、目標を大きく達成できた。
37	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	体育施設利用者数	年間	217,546人	233,000人	230,211人	225,702人	211,234人	229,755人	226,282人	97.1%	ほぼ達成	市民プールについては(株)水夢、各種グラウンド・丸山スポーツ公園・武道館・総合運動公園・高倉公園は(一財)綾部市体育協会、市民センターは綾部地区自治会連合会に管理委託。 指定管理者制度を活用することにより各施設の効率的・効果的な活用を図ることができた。
38	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	府民総体参加者数	年間	1,533人	1,550人	1,558人	1,748人	1,492人	1,954人	1,813人	117.0%	目標達成	毎年、市内予選会を実施し、市町村対抗競技会に出場。昨年については総合9位という結果であった。 本大会の参加を通じて、市民一人1スポーツの実現と、各競技の普及・発展が図られた。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
39	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	(財)綾部市体育協会会員数	年間	3,598人	3,650人	3,433人	3,200人	3,026人	3,085人	3,078人	86.7%	未達成	綾部市体育協会において、「だれもがスポーツを！」を合言葉に、市民参加型のだれもが気軽にスポーツに親しめる機会や場を提供するとともに、加盟20団体の主催事業を積極的に支援し、市民スポーツの普及ならびに競技力の向上に努められた。 市民総合体育大会をはじめとするスポーツ振興事業の活性化が図られ、市内のスポーツ振興、市民の健康増進につながっている。
40	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率	—	18.1%	20.0%	24.5%	23.4%	23.3%	24.0%	22.0%	117.2%	目標達成	全団交流大会、体カテスト会、指導者研修会を実施するとともに、スポーツ少年団に関するチラシを配布するなど団員拡充事業も行ってきた。 スポーツ離れや集団行動が苦手な子どもが増える中、スポーツを通じて地域や仲間とかかわり合う場を提供することにより、健全な体と心を育てることができた。
41	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	チャレンジウィーク参加率	—	42.9%	50.0%	41.6%	30.6%	35.7%	37.1%	34.1%	71.6%	未達成	毎年5月の最終水曜日から1週間、1回の運動継続時間が15分以上の健康づくりや運動をした実施率を集計。昨年はラジオ体操やウォーキングなど11,507名の参加があった。 目標は達成していないが、多くの市民の参加がある。チャレンジウィークが運動するきっかけづくりとして成果はあると考えている。
42	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加者数	年間	559人	570人	722人	799人	732人	788人	745人	132.8%	目標達成	毎年11月に開催。総合運動公園を発着に小学生駅伝は5区間6.5km、市民駅伝は5区間13kmのコースを設定。 多くのチームに参加いただいております。健康増進と競技力の向上、また市民相互の親睦と交流を深める場として成果を挙げている。
43	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加者数	年間	877人	1,000人	835人	874人	923人	888人	939人	93.9%	ほぼ達成	毎年6月に開催。小学生、中学生、高校生、一般男女の11部門で開催。例年900人前後の参加者がある。 国宝二王門をくぐるという地域特性を生かしたコースにより、市外も含め多くの方々に参加していただいております。観光振興にも寄与している。
44	2・6スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	里山サイクリング参加者数	年間	355人	500人	382人	549人	台風による中止	511人	449人	94.6%	ほぼ達成	毎年9月に開催。初心者向けのコース(25km)と中級者向けのコース(60km)を設け、中上林、奥上林の水源地の里をめぐる癒しと安らぎのコース設定している。 市民の健康づくりはもちろん、水源地の里をはじめとする本市の豊かな自然を全国に発信する機会となっている。
45	3・1子育て環境の充実	民生児童課	児童館・児童センター利用児童数	年間	12,814人	13,000人	15,219人	14,142人	14,179人	11,865人	10,472人	99.4%	ほぼ達成	高齢者や障害のある方も含めて、地域に密着した行事等を実施し、非常に有意義なものとなった。 年々利用児童数は減っているが、事業内容等の見直しを図りながら、来館しやすい体制づくりを行った。
46	3・1子育て環境の充実	民生児童課	保育所充足率	—	111.7%	100%	100.3%	103.9%	100.8%	102.2%	102.2%	97.9%	ほぼ達成	保育を必要とする保護者が安心して児童を預けられる場としての保育所の維持・充実に取り組んだ。 待機児童を発生させることなく、概ね保育に対するニーズに対応できている。
47	3・1子育て環境の充実	民生児童課	幼稚園充足率	—	105.5%	100%	113.7%	112.4%	112.6%	113.7%	95.9%	104.3%	目標達成	市独自事業である幼稚園(希望プラン)を活用するなどして、児童の保育及び教育の場の確保を行った。 待機児童を発生させることなく、概ね保育に対するニーズに対応できている。
48	3・1子育て環境の充実	民生児童課	幼児発達サポート事業参加率	—	99.6%	100%	98.9%	99.6%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	保護者の了解のもと、事業を実施し、発達上に支援が必要な児童に関して、保護者及び園への指導・助言を行うことができた。 今後も、関係機関が連携し、子どもの成長の様子の確認等や就学に向けた事後支援をさらに充実させていくこととしている。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
49	3・2高齢者福祉の推進	高齢者介護課	高齢者配食サービス登録者数	累計	376人	400人	473人	509人	569人	595人	598人	149.5%	目標達成	地域包括支援センターや配食事業者と連携することにより、一人暮らし等の高齢者世帯の栄養改善、安否確認に取り組むことができた。登録者数は増加しており、目標は達成できた。
50	3・2高齢者福祉の推進	高齢者介護課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	2,503人	4,500人	5,603人	6,606人	7,228人	8,578人	8,959人	199.1%	目標達成	西部地域では、地域ケア会議で地元自治会等からの要請を受けて、地域包括支援センターと介護事業所が一体となって講座の開催を行い多くの参加があった。学校などからの講座の要請があつて、計画の早期に目標数値に達することができた。
51	3・2高齢者福祉の推進	高齢者介護課	地域密着型サービス施設数	累計	5施設	16施設	12施設	15施設	15施設	17施設	18施設	112.5%	目標達成	綾部市高齢者保健福祉計画に基づき、日常生活圏域間の調整をとりつつ、施設整備が行われた。国・府補助制度の活用により社会福祉法人等が行う施設整備を積極的に支援した結果、目標を達成することができた。
52	3・2高齢者福祉の推進	高齢者介護課	清山荘入館者数	年間	23,618人	27,000人	22,327人	24,723人	28,802人	30,153人	31,991人	118.5%	目標達成	利用者が求める趣味講座や体操教室などを実施するとともに、利用者の送迎をきめ細かく行った。利用者数は目標を大幅に上回り、高齢者の健康増進、介護予防につながっている。
53	3・3障害者福祉の推進	福祉課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	3,448人	4,500人	3,901人	4,149人	4,353人	4,559人	4,619人	102.6%	目標達成	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。利用者ニーズに合った支給決定ができた。今後も掘り起こしに努める課題はある。
54	3・3障害者福祉の推進	福祉課	地域活動支援センター利用者数	年間	1,330人	1,600人	1,275人	1,460人	1,225人	1,196人	1,195人	80.1%	未達成	デイサービス開催により社会参加の場としての場の提供及び多数の利用者に参加いただいた。参加者の高齢化が進み、移動手段を持たない方が多い。今後、継続した参加をしていただくため、送迎の充実を図る必要がある。
55	3・3障害者福祉の推進	福祉課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	1,653人	2,000人	1,831人	1,810人	2,659人	2,504人	2,679人	134.0%	目標達成	急増する精神障害者の相談に、精神保健福祉士の資格を持つ職員による相談事業及び居場所づくりに努めた。ここ数年、精神保健に係る相談が急増しているため、相談支援体制の強化が必要。
56	3・3障害者福祉の推進	福祉課	障害者生活支援事業相談件数	年間	7,645件	9,000件	7,723件	7,806件	8,047件	22,335件	18,766件	208.5%	目標達成	平成26年度より4法人に相談支援事業を委託したことにより、相談支援事業の充実が図れている。急増する相談及び相談内容の多様化に対応するため、更なる相談支援体制の強化が必要となる。
57	3・4地域福祉社会の実現	民生児童課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	累計	7か所	9か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	77.8%	未達成	継続した活動を通じて、子どもと高齢者との交流ができ、また、地域の人々とともに、子どもがふるさとふれあい活動に取り組むことができた。目標には達してはいないが、少子化・高齢化が進む中、減少することなく活動が維持できている。
58	3・4地域福祉社会の実現	高齢者介護課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	30件	35件	26件	29件	32件	31件	31件	88.6%	未達成	地域での介護予防・支え合いを行う組織を育成するため、地域住民で構成する31グループに対し、補助金の交付を行った。目標に達しなかったが、既存の31組織はサロン活動に精力的に取り組んでいただいている。
59	3・5保健の推進	保健推進課	ウォーキングイベント参加者数	年間	582人	600人	476人	333人	378人	452人	489人	81.5%	未達成	ふれあいウォーキングは体力に応じて参加しやすいよう、複数のコースを設定した。向日市との交流ウォーキングは向日市と綾部市の隔年開催で、ウォーキングを通して交流を深めた。コース設定を増やしたり、参加しやすい工夫をするも、市民の高齢化もあり、目標達成は厳しかった。



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総合評価	前期計画総括説明
60	3・5保健の推進	保健推進課	乳幼児健康診査受診率	—	95.6%	97.0%	96.7%	97.0%	97.7%	96.3%	96.9%	99.9%	ほぼ達成	健診未受診者にはまず受診勧奨を行い、それでも受診されない場合は訪問を行い、全数把握に努めた。 前期の目標はほぼ達成できた。
61	3・5保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	—	24%	65%	23%	25%	28%	30%	32%	49.2%	未達成	個別受診勧奨通知、保健師による訪問勧奨、無料クーポン配布事業等を行ったが、受診率は向上しているものの、目標に達しなかった。 未受診の理由に「治療中だから」という意見が多かったことから特定健診受診意識の向上を図る必要がある。
62	3・5保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	—	14.9%	30%	16.5%	16.0%	18.3%	18.2%	19.1%	63.7%	未達成	がん検診が受けやすいよう休日総合がん検診を実施したり、無料クーポン券の配布事業も行った。また、受診勧奨訪問も行き啓発に努め、受診率は上昇傾向にはあるが、目標には達しなかった。 目標達成には、各がん検診ごとに課題を検証し、工夫が必要である。
63	3・5保健の推進	保健推進課	健康相談指導人数	年間	4,461人	5,000人	3,591人	4,175人	6,574人	7,085人	6,817人	136.3%	目標達成	毎月の健康・栄養相談日に加え、各地域での健診後の健康相談や骨密度測定時の保健指導などを行い、個々に応じた相談を行った。 地域に出ていく機会を増やし、目標を達成した。
64	3・5保健の推進	保健推進課	食育健康教育指導人数	年間	2,891人	3,000人	4,667人	2,770人	3,928人	4,817人	5,698人	189.9%	目標達成	生活習慣病予防や食育、介護予防など多岐に渡る健康教育や各団体からの依頼に応じて出前講座を開催し、健康管理に努めた。 参加しやすい工夫として、地域に出向いての介護予防教室等も増やし、参加者が増加したことで前期の目標を達成した。
	3・6医療体制の充実		なし											
65	3・7社会保障の適正運営	市民・国保課	国民健康保険料収納率	—	94.76%	96.80%	94.71%	95.12%	95.68%	96.14%	95.87%	99.0%	ほぼ達成	負担公平性と収納率向上のため、平成24年度から京都地方税機構に未納債権の移管を行った。また、機構と連携し、情報共有を行いながら徴収に努めた。 口座振替による納期内納付を推進するとともに、さらに機構との連携を密にし、収納率向上に努める。
66	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	農業後継者就農支援事業後継者数	累計	4人	10人	5人	5人	6人	6人	6人	60.0%	未達成	親の農業の基盤を引き継ぐなどする就農者の支援を行った。 平成24年度に新規就農・経営継承総合事業（青年就農給付金）が始まったことから、利用希望者が減少したこともあり目標達成できなかった。（参考：青年就農給付金利用実績：延べ17経営体）
67	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	有害鳥獣被害面積	年間	13,416a	6,708a	6,589a	2,202a	1,904a	1,959a	2,558a	272.7%	目標達成	防護柵設置延長：518km。被害額：平成22年度・99,700千円⇒平成27年度・22,166千円 防護柵を設置した地域には一定の効果はあるが、未設置地域において被害が集中している。 今後、未設置地域への対策と、既存の柵の適正な維持管理が必要となる。
68	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	有害鳥獣防除施設対象面積	年間	46,000a	80,500a	132,577a	132,577a	140,700a	156,700a	159,694a	198.4%	目標達成	防護柵設置延長：518km。被害額：平成22年度・99,700千円⇒平成27年度・22,166千円 防護柵を設置した地域には一定の効果はあるが、未設置地域において被害が集中している。 今後、未設置地域への対策と、既存の柵の適正な維持管理が必要。
69	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	地産地消（朝市）参加生産グループ	年間	11団体	16団体	15団体	16団体	16団体	10団体	9団体	82.5%	未達成	「あやべ産業まつり」をはじめとする各イベントに参加し、生産者が消費者に直接販売することにより、綾部の農産物をPRするとともに、地産地消の推進に大きな役割を果たした。 生産者の高齢化が進んだこともあり、目標は達成できなかった。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
70	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	間伐材運搬対策事業搬出量	年間	—	3,500m <sup>3</sup>	3,240m <sup>3</sup>	3,994m <sup>3</sup>	3,451m <sup>3</sup>	2,509m <sup>3</sup>	3,472m <sup>3</sup>	99.2%	ほぼ達成	綾部市森林組合等による間伐を支援し、高性能林業機械の利用により、現場作業の効率化が図られ、間伐材搬出が促進された。 平成26年度は災害の影響により減少したが、概ね目標の搬出量を達成した。
71	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	内水面漁業振興対策事業放流量	年間	2,936kg	3,000kg	2,460kg	2,264kg	2,170kg	2,030kg	2,095kg	73.5%	未達成	水産資源の確保のため、アユなどの稚魚の放流を行った。 補助金の減額や組合員の高齢化などによる組合費の減少により、目標の放流量を確保できなかった。
72	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	農業法人数	累計	11法人	15法人	15法人	17法人	20法人	21法人	20法人	133.3%	目標達成	集落営農組織の法人化等により、農業法人数は増加してきた。 法人化を推進することによって目標を達成した。
73	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	認定農業者数	累計	57人	62人	48人	47人	50人	52人	50人	80.6%	未達成	地域の担い手として活動を行う認定農業者には、低利融資が受けられるなど有利な制度があり、その活用を図るとともに、認定農業者による組織団体「綾部グリーンアグリ」の活動を支援した。 新たな認定農業者はいるが、高齢化などで更新しない者がおり目標の達成ができなかった。
74	4・1農林業・内水面漁業の振興	農林課	新規就農者数	累計	50人	60人	45人	45人	50人	57人	61人	101.7%	目標達成	担い手育成実践農場の活用などにより新規就農者の確保に努めた。 京都府をはじめとする関係組織との連携などにより、他業種からの就農者もあり目標を達成した。
75	4・2農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター施設利用者数	年間	6,687人	7,000人	7,097人	9,216人	9,228人	6,761人	6,003人	109.4%	目標達成	施設改修や体験交流事業メニューの充実等により、施設利用者の増加を図った。 平成23年度：トヨサト食堂の試行、平成24年度：里山交流館空調設備設置、あやべ里山お茶まつり開催、平成26年度：土砂災害により体育館等解体、森の京都マスタープラン策定、平成27年度：体育館に代わる新たな体験交流施設整備に係る基本設計・実施設計、体験交流用備品整備 施設改修による施設機能の充実に加え、NPO法人里山ねっと・あやべへの業務委託による体験交流事業の継続実施と事業メニューの充実により、施設利用者を拡大することで、地域資源を活用した農村と都市との交流を推進した。
76	4・2農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター宿泊者数	年間	1,836人	2,000人	732人	969人	959人	934人	1,074人	53.7%	未達成	交流人口の拡大による宿泊者数の増加を図るとともに、宿泊者に提供する食事の改善や合宿や大学ゼミの誘致による宿泊者数の増加に努めた。 平成23年度：食生活改善グループとの連携による食事提供メニューの改善、平成24年度：食事提供専従職員の配置、平成23～27年度：ホームページによる合宿、大学ゼミ等の誘致 平成22年度から市職員の配置を廃止し、スタッフが減員となったことで、宿直の対応が困難となったことや夏休み中の団体合宿の減少により目標を達成できなかった。 また、体験交流事業メニューを充実する中で、宿泊を伴う仕掛けづくりが不十分であったため、交流人口の増加が宿泊者数の増加につながらなかった。
77	4・2農村の活性化	定住促進課	定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)	年間	15世帯	15世帯	30世帯	20世帯	19世帯	19世帯	19世帯	142.7%	目標達成	平成23年度から綾部商工会議所の会員である市内宅地建物取引業者との連携を図ったり、平成26年度には「綾部市住みたくるまち定住促進条例」を制定し、全市一丸となって定住促進に取り組む機運醸成を図る中で、空き家改修補助制度の創設など、定住支援の充実を図ってきた。 全市一丸となって定住促進に取り組んだ結果、155世帯369人の定住につなぐことができた。



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
78	4・2農村の活性化	観光交流課	農村都市交流人口(受入数)	年間	2,527人	3,000人	1,836人	3,260人	3,000人	3,881人	3,187人	106.2%	目標達成	施設改修や体験交流事業メニューの充実等により、農村都市交流人口の増加を図った。 平成23年度：トヨサト食堂の試行、平成24年度：里山交流館空調設備設置、あやべ里山お茶まつり開催、里山交流大学東京出張講座開始、平成26年度：土砂災害による体育館等解体、森の京都マスタープラン策定、平成27年度：体育館に代わる新たな体験交流施設整備に係る基本設計・実施設計、体験交流用備品整備 施設改修による施設機能の充実に加え、NPO法人里山ねっと・あやべへの業務委託による体験交流事業の継続実施と事業メニューの充実により、農村都市交流を積極的に推進することで、農村地域の活性化が図れた。
79	4・3商業の振興	商工労政課	商店数	累計	514店	514店	商業統計が経済センサスに移行						評価対象外	
80	4・3商業の振興	商工労政課	商品販売額	年間	554億円	580億円	商業統計が経済センサスに移行						評価対象外	
81	4・3商業の振興	商工労政課	古民家等活用店舗件数	累計	15店	30店	17店	17店	17店	17店	17店	56.7%	未達成	古民家等活産業振興用事業は平成23年度で終了。 平成28年度から古民家を含む空き家、空き店舗を活用しての創業支援を実施。
82	4・4工業の振興	商工労政課	綾部工業研修所事業受講者数	年間	33人	50人	29人	26人	41人	36人	63人	126.0%	目標達成	綾部商工会議所、綾部工業団地振興センター、京都府中小企業技術センター等と連携し、入所者へのPRに努めた。また、新たに開設された「工業課程上級コース」の受講者に対する助成を行い、入所者の増加に努めた。 平成26年度から「工業課程上級コース」が開設されたこともあり、受講者数が増加。引き続き支援とPRに努める。
83	4・4工業の振興	商工労政課	北部産業技術支援センター機械貸付件数(市内企業)	年間	171件	250件	455件	339件	333件	377件	251件	140.4%	目標達成	企業訪問等で機器の利用やセンターで行われる各種セミナーの案内を行い、利用促進に努めた。 利用企業が独自で試験機器を購入されたこともあり、利用件数が減ってきている状況。引き続きPRに努め、未利用企業への案内を積極的に行う。
84	4・4工業の振興	商工労政課	綾部市工業団地立地企業数	累計	9社	10社	9社	9社	9社	9社	9社	90.0%	ほぼ達成	平成25年4月に1社移転するも、同年6月に跡地を立地企業が借りられ1社減となった。同年11月に残り1区画に1社が立地することで全9社となった。 平成25年11月に全14区画契約完了。借地による立地企業への分譲に努めると共に、引き続き新たな産業用地の検討を行う。
85	4・4工業の振興	商工労政課	製造品出荷額等	年間	864億円	1,200億円	978億円	778億円	1,029億円	1,169億円	統計集計中	97.4%	ほぼ達成	工場設置奨励金のPRをはじめとして、生産体制の強化や設備導入に対応する国・府等の補助制度等の情報提供を行い、支援に努めた。 平成27年度の工業統計結果が出ていないが、徐々に回復傾向にある。引き続き補助金のPR等を行い支援に努める。
86	4・4工業の振興	商工労政課	工場設置奨励金交付件数	年間	22件	25件	18件	16件	18件	19件	24件	96.0%	ほぼ達成	企業訪問等によりPRに努め利用促進を図った。 生産設備の導入等が積極的に行われ、実績件数が増加傾向にあることから、更にPRし利用促進に努める。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
87	4・5観光交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	360,221人	430,000人	383,386人	388,137人	510,022人	545,631人	597,585人	139.0%	目標達成	<p>新たな観光振興事業の実施や都市交流拠点施設（あやべグンゼスクエア）の整備による観光振興。平成23年度：綾部バラ園バラまつり等に対する支援、観光情報紙の創刊、観光ホームページのリニューアル、水源の里オリジナル飲料水の製作・販売、B級グルメフェスタの開催、平成24年度：モンベルフレンドエリアに加入、NHK大河ドラマ誘致推進協議会に加入、TANTANロングライド開催、平成25年度：着地型観光推進事業、都市交流拠点施設整備、あやべ温泉・あやべ山の家改修、海の京都観光推進協議会に加入、海フェスタ京都開催、平成26年度：あやべグンゼスクエアオープン、海の京都博開催、平成27年度：NHK朝の連続テレビ小説誘致推進協議会発足、「由良川 大江山 SEA TO SUMMIT」開催、森の京都観光振興協議会加入</p> <p>新たな観光振興事業の実施や都市交流拠点施設（あやべグンゼスクエア）の整備、海の京都事業の推進等により、市外からの交流人口を拡大し、観光交流を推進できた。</p> <p>なお、平成24年の京 綾部ホテル「大家族の湯」及び平成26年のあやべグンゼスクエアの新規オープンに加え、平成26年の舞鶴若狭自動車道、平成27年の京都縦貫自動車道の全線開通が、日帰り観光入込客数を一気に押し上げる要因となった。</p>
88	4・5観光交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	62,519人	65,000人	61,823人	55,878人	61,095人	63,135人	62,372人	96.0%	ほぼ達成	<p>スポーツ観光の推進やあやべ温泉・あやべ山の家施設改修等により、宿泊観光客数の増加に努めた。平成24年度：モンベルフレンドエリアに加入、TANTANロングライド開催、平成25年度：着地型観光推進事業、あやべ温泉・あやべ山の家改修、平成27年度：「由良川 大江山 SEA TO SUMMIT」開催</p> <p>スポーツ観光の推進やあやべ温泉等の宿泊施設の改修等による宿泊客数の拡大に努めた。平成24年度に主要ホテル1軒（広子園）が閉鎖されたことで、僅かに目標を達成できなかった。</p>
89	4・6地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加企業数	年間	21社	40社	20社	22社	34社	台風中止	38社	95.0%	ほぼ達成	<p>綾部市雇用促進連絡会議で国・府等と連携する中で、開催場所の変更などフェアの規模拡大に努め、参加企業数の増加を図った。</p> <p>景気の回復傾向に伴い、有効求人倍率が高く推移する中で、人員確保に積極的な企業が参加されている。</p>
90	4・6地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加者数	年間	168人	200人	110人	85人	129人	台風中止	94人	52.3%	未達成	<p>綾部市雇用促進連絡会議の連携の中で、U・Iターン希望者を含む求職者への情報提供や広報活動を行った。</p> <p>新卒者の就職活動解禁日の変更や景気等が、参加者の増減に影響している。引き続き、U・Iターン者等への幅広い広報活動に努める。</p>
91	4・6地元雇用の確保	商工労政課	綾部市勤労者住宅資金融資件数	累計	63件	70件	63件	63件	63件	63件	63件	90.0%	ほぼ達成	<p>制度の利用促進を図るため、取扱い金融機関と制度内容の見直しを行ったが、新たな利用者は無い状況である。</p> <p>市内の金融機関が同様の融資を低利で提供されている。民間の補完的な制度と位置付ける中で、制度内容の見直しも検討したい。</p>
92	5・1環境の保全と創造	環境保全課	コスモス祭来場者数	年間	3,500人	3,500人	1,600人	2,200人	1,600人	1,600人	1,150人	46.6%	未達成	<p>平成26年度から、シルバー人材センター主催イベントに変更。</p> <p>綾部市ふれあいウォーキングとの共催イベントとして、市民に定着したイベントとなった。</p>
93	5・1環境の保全と創造	環境保全課	廃食油回収量	年間	6,920ℓ	7,000ℓ	6,168ℓ	6,882ℓ	5,271ℓ	6,668ℓ	6,277ℓ	89.7%	未達成	<p>綾部市環境市民会議と連携しながら、広報・啓発に取り組み、市民への廃食油回収の浸透を図った。</p> <p>生活様式等の変化等により、廃食油の量自体が減ってきているが、さらに、分別を進めるため、広報・啓発に取り組んでいく。</p>
94	5・1環境の保全と創造	環境保全課	環境講演会参加者数	年間	200人	300人	200人	160人	120人	70人	80人	42.0%	未達成	<p>広報・啓発して、環境市民会議のメンバー以外の出席者数を増やすことができた。</p> <p>今後、内容等をさらに充実させ、環境市民会議のメンバーを含め、全市民的な参加が見込める講演会としていきたい。</p>

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
95	5・1環境の保全と創造	環境保全課	BOD環境基準適合率	—	100%	100%	100%	96%	100%	100%	100%	100.0%	目標達成	「上林川を美しくする会」により、上林川流域の12箇所（内、BOD測定は10箇所）で水質調査が年6回実施された。また、農繁期には「農業濁水を流しません」ののぼり旗を掲げ、水質汚濁防止の啓発活動が行われた。 A類型のBOD環境基準値（2以下）を、すべての箇所まで目標を達成できた。 流域住民に対して、水質汚濁防止の意識の高揚が図れていると思われる。
96	5・1環境の保全と創造	環境保全課	上林川を美しくする会 葦刈り等参加者数	年間	120人	120人	133人	124人	90人	90人	75人	85.3%	未達成	メルマガやイベントカレンダーに掲載するなどし、「上林川を美しくする会」の会員だけでなく会の活動に賛同いただけるボランティアを広く募集した。 年3回の実施予定としているが、天候の状況により計画通り実施できなかったり、他のイベントと重なるなどし、目標値には至らなかった。
97	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物（紙類）回収量	年間	1,326t	1,500t	1,302t	1,369t	1,242t	1,247t	1,208t	84.9%	未達成	自治会やPTA等の団体に対しての資源ごみ回収補助金制度や自治会に対しての古紙回収保管庫設置費補助金制度による自主的な資源回収を支援した。 登録団体の減少、補助金制度の利用頻度の減少により、目標は達成できなかった。
98	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物（衣類）回収量	年間	24t	25t	29t	37t	37t	35t	32t	135.9%	目標達成	自治会やPTA等の団体に対しての資源ごみ回収補助金制度により、自主的な資源回収を支援した。 布類の資源回収量については、増加傾向にある。（平成27年度より事業所への補助金制度を廃止）
99	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率	—	63%	70%	63%	74%	67%	56%	51%	88.8%	未達成	リサイクル推進員には、ごみの減量とリサイクルに関し、市と地域との連携役として、ごみ減量化、分別排出の指導啓発等の活動を行っていただいた。 地域において、リサイクル推進員に活動いただくことにより、市民の自覚と協力に基づいたごみ減量化とリサイクルの推進ができた。
100	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	可燃ごみ収集量	年間	7,081t	6,500t	6,678t	6,494t	6,335t	6,181t	5,999t	108.4%	目標達成	市一般廃棄物処理計画に基づき「守ろうごみマナー」等による分別の徹底及びごみ減量化の啓発を行ってきた。 前期の目標は達成できた。
101	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	不燃ごみ収集量	年間	716t	650t	732t	693t	753t	751t	836t	86.7%	未達成	市一般廃棄物処理計画に基づき「守ろうごみマナー」等による分別の徹底及び再利用・再資源化によるごみ減量化の啓発を行ってきた。 引き続き分別の徹底等の啓発を行い収集量の減少に努める。
102	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量（家庭ごみ）	年間	222kg	200kg	217kg	206kg	204kg	205kg	203kg	98.5%	ほぼ達成	市一般廃棄物処理計画に基づき「守ろうごみマナー」等による分別の徹底及び再利用・再資源化によるごみ減量化の啓発を行ってきた。 前期の目標はほぼ達成できた。
103	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量（粗大ごみ）	年間	8kg	7kg	8kg	10kg	19kg	12kg	17kg	64.3%	未達成	市一般廃棄物処理計画に基づき「守ろうごみマナー」等による分別の徹底及び再利用・再資源化によるごみ減量化の啓発を行ってきた。 戸別収集等の増加に伴い目標達成には至らなかった。
104	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たり資源物回収量	年間	51kg	60kg	53kg	58kg	54kg	54kg	53kg	90.7%	ほぼ達成	団体に対しての資源ごみ回収補助金制度や、自治会に対しての古紙回収用保管庫設置費補助金制度により、自主的な資源回収を支援した。また、市によるビン類、缶類等の定期的資源回収を行ない、前期の目標はほぼ達成できた。



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
105	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	し尿処理量	年間	12,693kℓ	8,701kℓ	11,860kℓ	10,833kℓ	10,836kℓ	10,450kℓ	9,608kℓ	90.6%	ほぼ達成	水洗化事業の進捗に伴い、し尿収集の規模が縮小する中、収集日程の統合も進め、効率的な作業実施に努めた。 前期の目標はほぼ達成できた。
106	5・2廃棄物対策の推進	環境保全課	浄化槽汚泥処理量	年間	15,585kℓ	18,501kℓ	14,511kℓ	15,874kℓ	15,127kℓ	15,510kℓ	15,730kℓ	85.0%	未達成	浄化槽の増加、農業集落排水の整備などにより処理量が増加傾向にある中、安定した浄化槽汚泥処理を行うため、施設内の汚泥処理設備の整備を実施した。 浄化槽等汚泥の処理量は増加傾向にあるが、近年の公共下水道の進捗により、処理量が減少する状況も見られ、年度により処理量に増減が生じる状況となった。
107	5・3上水道の安定供給	上水道課	水道普及率	—	97.3%	97.5%	97.4%	97.5%	97.5%	97.7%	98.1%	100.6%	目標達成	平成27年度に東八田簡易水道事業で梅迫の内谷地区を整備完了し、水道未普及地（70戸）を解消した。 予定事業を完了したが、今後は奥上林地区に集中する水道未普及地について、解消に向けた計画推進が求められる。
108	5・3上水道の安定供給	上水道課	上水道布設替延長	年間	2,210m	2,500m	2,350m	2,634m	2,143m	1,939m	4,292m	171.7%	目標達成	下水道整備の年次計画に基づき石綿管等の老朽管更新を実施した。 前期の目標は達成できた。
109	5・3上水道の安定供給	上水道課	上水道新設延長	年間	324m	1,000m	1,689m	1,703m	1,239m	2,668m	1,315m	172.3%	目標達成	下水道整備の年次計画に基づき配水管の新設を実施した。 前期の目標は達成できた。
110	5・4下水道の整備促進	下水道課	水洗化人口	—	22,000人	26,100人	23,212人	24,744人	25,430人	25,466人	26,260人	100.6%	目標達成	公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の整備により、汚水処理が可能な人口が3,893人増加した。 前期の目標は達成できた。
111	5・4下水道の整備促進	下水道課	汚水処理人口普及率	—	59.3%	70.0%	64.3%	68.6%	71.4%	72.5%	75.7%	108.1%	目標達成	公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の整備により、汚水処理人口普及率が14.7ポイント増加した。 前期の目標は達成できた。
112	5・5防災対策の推進	総務課	自主防災組織数	累計	121組織	196組織	130組織	130組織	132組織	138組織	143組織	73.0%	未達成	5か年で13組織設置した。主な取り組みとして、平成26年度から「綾部市自主防災組織育成事業補助金」の交付要綱の補助率、補助金の額、交付回数等について見直しを行い、組織の設立や活性化を促したが、目標には及ばなかった。 自治会活動の高齢化やまだまだ防災意識の低い自治会もあることが一因としてあげられる。地道な説明が求められる。
113	5・5防災対策の推進	建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	年間	7件	15件	12件	23件	14件	21件	7件	102.7%	目標達成	広報ねっとへの掲載等により広く募集し耐震診断実施戸数を増やすことができた。 目標には達したが、耐震についての第1歩であり、さらなる普及啓発が必要と考える。
114	5・5防災対策の推進	建築課	木造住宅改修補助件数	年間	1件	10件	11件	17件	11件	8件	14件	140.0%	目標達成	広報ねっとへの掲載等により広く募集し改修戸数を増やすことができた。 耐震診断を受けた方の多くが耐震改修をされるようになった。今後は、耐震についてさらに周知に努めることが大切である。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
115	5・5防災対策の推進	建設課	災害時避難所整備実施箇所数	累計	3箇所	9箇所	4箇所	4箇所	8箇所	8箇所	8箇所	88.9%	未達成	京都府における予算確保及び、綾部市、地域と連携を図り事業推進を図った。 既施行地区について、計画を超える工事費が必要となり、新規箇所着手が困難となり、計画達成に至らなかった。今後、工事費の予算確保について引き続き京都府に対して要望を行うなど、当該事業の計画的な実施を図る。 (実施箇所：篠田、古和木、(古屋)、五泉、老富、位田、井根、八津合)
116	5・5防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業新規実施地区数	累計	—	5地区	1地区	4地区	4地区	6地区	6地区	120.0%	目標達成	京都府における予算確保及び、綾部市、地域と連携を図り事業推進を図った。 前期の目標は達成した。 (実施箇所：五泉、老富、位田、井根、八津合、有岡)
117	5・5防災対策の推進	総務課	防災座談会等の開催数	年間	21回	25回	21回	37回	20回	46回	18回	113.6%	目標達成	5か年の主な取り組みとして、土砂災害防止法説明会を実施した。 前期の目標は達成した。
118	5・6消防・救急体制の充実	消防本部	各訓練・行事参加消防団員数	年間	4,163人	4,400人	4,210人	4,690人	4,558人	4,447人	4,370人	101.3%	目標達成	消防団員の入団促進やハイパー消防団員、機能別消防団員を導入し消防団体制の強化を図った。 女性消防団員(シルキーファイヤー)による各種イベントでの啓発活動を実施した。 前期の目標は達成した。
119	5・6消防・救急体制の充実	消防本部	訓練実施事業所・自治会数	年間	66か所	100か所	44か所	48か所	54か所	48か所	63か所	63.0%	未達成	査察時の指導により、訓練を実施する事業所、自治会は増加傾向にある。(平成27年度：事業所47箇所。自治会16か所) 増加傾向にあるものの、事業所の訓練についてはさらに実績をあげる必要がある。
120	5・6消防・救急体制の充実	消防本部	訓練参加者数	年間	4,783人	5,500人	4,802人	4,867人	3,967人	3,001人	4,428人	80.5%	未達成	東日本大震災などの影響により防災に対する関心は高まり、参加者数は増加傾向にある。 消火器訓練機器の導入により、多くの方に積極的に初期消火の訓練を実施してもらえた。
121	5・6消防・救急体制の充実	消防本部	防火座談会参加者数	年間	539人	800人	323人	239人	285人	45人	578人	72.3%	未達成	防災への関心の高まりを受け、多くの参加が見られた。 平成27年度は延べ16自治会からの依頼があり、100人を超す参加の自治会もあった。こうした機会をとらえ、住宅火災警報器の必要性についても周知することができた。
122	5・6消防・救急体制の充実	消防本部	救命講習受講者数	累計	7,571人	12,000人	8,763人	9,558人	9,998人	10,603人	11,182人	93.2%	ほぼ達成	普通救命講習開催状況 平成23年度：52回、平成24年度：52回、平成25年度：40回、平成26年度：47回、平成27年度：50回 毎年度約600人の市民に対し、新たに、救命処置の方法を伝え、その必要性を訴えることができたが、目標達成には至らなかった。受講者数全体に対する再受講者数の率は増加傾向にあることから、未受講者に対する啓発活動を推進する必要がある。
123	5・7生活の安全性の向上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	580人	620人	520人	670人	520人	621人	476人	90.5%	ほぼ達成	平成26年度から小学生の交通安全ポスターコンクールを行うなど、新たな事業により広く啓発活動を行っている。 安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係団体と連携することにより、継続的に啓発活動を行うことができた。
124	5・7生活の安全性の向上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	600人	640人	540人	690人	623人	604人	552人	94.0%	ほぼ達成	市民に参加を呼び掛ける市民大会を開催するなど、広く市民に啓発を行った。また、青色パトロールに参加するなど、新たな啓発活動も行った。 安全・安心のまちづくり推進協議会として、関係団体と連携することにより、継続的に啓発活動が行うことができた。



No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
125	5・7生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	193人	250人	1,101人	508人	633人	209人	116人	205.4%	目標達成	昨年度は利用申込みがあった3団体に対し、マイナンバー制度の説明(税務課)とセットにマイナンバー詐欺を中心とした出前講座を開催した。制度を理解した上で、マイナンバー詐欺を未然に防ぐ対処方法の啓発ができた。 悪質商法の手口も巧妙化しているが、出前講座を開催することにより、被害を未然に防ぐ知識を身につけてもらい、消費生活の安心安全を図ることができた。今後は申込み団体の拡充を図りたい。
126	5・7生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活相談件数	年間	96件	85件	105件	115件	124件	144件	141件	68.5%	未達成	相談方法：電話相談84件、来所相談57件。60歳以上の割合53.1%(平成27年度)。案件によっては京都府消費生活安全センターや国民生活センターと連携し対応を行った。 相談件数は増加傾向であるが、相談に対しては真摯に対応し、消費生活センターとしての役割は果たしている。相談件数を減少させるためには、被害の未然防止を図る啓発活動が重要であるため、啓発活動方法の見直しを検討する必要がある。
127	5・7生活の安全性の向上	商工労政課	多重債務相談件数	年間	18件	12件	11件	5件	8件	5件	5件	240.0%	目標達成	毎月1回司法書士による相談窓口を設置。広報ねっとやFMいかるを活用し広報を行った。 平成22年6月に貸金業法改正されてから、借り入れが困難になったため、相談件数は減少している。司法書士からの助言を受けることにより多重債務相談者の受け皿としての機能が果たせた。引き続き相談窓口の周知に努めるとともに多重債務状況に陥ることがないように啓発に努める。
	6・1土地利用と市街地の形成		なし											
128	6・2住環境の整備	定住促進課	あやべ桜が丘団地販売区画数	累計	386区画	459区画	398区画	403区画	412区画	421区画	422区画	91.9%	ほぼ達成	新聞折り込みやFM放送を活用したPRのほか、平成23年度に分譲価格の20%プライスダウンと合わせて、新築補助金を創設するなど、大きな販売戦略を展開。 地道なPR活動と大きな販売戦略の展開によって、分譲開始してから平成27年度末までに422区画の販売につなぐことができた。
129	6・3道路の整備	建設課	市道舗装率	—	91.0%	92.0%	91.2%	91.3%	91.3%	91.4%	91.5%	99.5%	ほぼ達成	実延長531,061mのうち486,143mが舗装済みとなった。 未舗装道路の新規認定もある中、徐々に舗装率を上げることができた。
130	6・4公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	238,012人	245,000人	237,166人	227,494人	222,626人	208,942人	217,824人	90.9%	ほぼ達成	平成27年度にダイヤ改正、新路線を導入することにより、平成22年度をピークに減少が続いていた乗車人数が増加に転じた。 平成22年度からの減少傾向が一定改善された。
131	6・4公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	27人	50人	48人	62人	57人	57人	46人	108.0%	目標達成	年度により通学費補助制度の利用者の増減はあるものの、制度が定着し鉄道利用促進が図れた。 一定制度が定着し制度利用はあるが、更にPRを行うことにより利用者の増加を図る。
132	6・4公共交通の充実	市民協働課	あいトレイン参加者数	年間	90人	100人	101人	101人	94人	113人	108人	108.0%	目標達成	行先の施設を変更することにより募集人数を増加するなど、利用者の増加を図った。 定着しているイベントであるが、内容の見直しを実施するなど、更なる利用者の増加につなげることができた。
133	6・5公園・緑地空間の充実	都市計画課	都市公園の1人当たり面積	—	17㎡	18㎡	18㎡	19㎡	19㎡	19㎡	19㎡	106.7%	目標達成	平成23年9月に紫水ヶ丘公園BCゾーンが竣工し、都市公園の整備は完了。 前期の目標は達成できた。

No.	章・節	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	23実績	24実績	25実績	26実績	27実績	評価対象達成率	総括評価	前期計画総括説明
134	6・6斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数(告別式)	年間	175件	190件	203件	184件	177件	173件	173件	95.8%	ほぼ達成	利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内特にトイレの汚れの確認や清掃、忘れ物が無いよう点検を徹底した。 前期の目標はほぼ達成できた。
135	6・6斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数(通夜)	年間	93件	95件	137件	117件	120件	122件	130件	136.8%	目標達成	利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内特にトイレの汚れの確認や清掃、忘れ物が無いよう点検を徹底した。 前期の目標は達成できた。
136	6・7地域情報化の推進	秘書広報課	綾部市ホームページへのトップページアクセス件数	年間	397千件	420千件	325千件	293千件	359千件	455千件	411千件	97.9%	ほぼ達成	上水道課ホームページの市ウェブサイトへの統合を行った。また、市公式フェイスブックページを開設し、市のイベント等の記事を積極的に掲載することで「いいね」を増やし、リンクによる市のホームページへの誘導を行った。 さらに、ホームページのリニューアルにより、アクセシビリティの向上や見やすく利用しやすい画面構成に努めたほか、積極的な記事掲載によるPRを行ったことで、目標はほぼ達成できた。
137	計画推進・1 開かれた市政の推進	秘書広報課	コミュニティFM放送局行政情報提供件数	年間	1,033件	1,100件	1,070件	1,122件	1,416件	1,500件	1,769件	160.8%	目標達成	市役所内担当課だけでなく、学校・幼稚園なども含め様々な情報の提供に努めた。 また、エフエムあやべが実施するFM可聴エリアの拡大事業を支援するため、国の制度について情報収集や要望を行った。 エフエムあやべと連携を密にし、積極的な情報提供を行う事ができた。
138	計画推進・1 開かれた市政の推進	総務課	情報公開・個人情報保護制度ウェブサイト情報数	年間	6,009件	8,000件	2,667件	3,299件	4,834件	5,560件	4,057件	51.0%	未達成	平成27年度は5年間で初めて前年度より件数が減少した。今後は、より一層の積極的な情報公開推進の必要がある。
	計画推進・2 効果的な行政運営		なし											
139	計画推進・3 健全な財政運営	財政課	地方債発行額/地方債元金償還額(普通会計)	—	0.348	1.0未満	0.495	1.496	1.157	0.985	0.819	123.1%	目標達成	後年度の公債費負担に留意しつつ、地方債発行額を償還額より少なく抑えることに努めた。 災害関連による緊急的な対応や将来における財政の健全な運営に向けて、第三セクター等改革推進債を活用し、土地開発公社の抜本的改革に取り組んだため、目標を達成することができない年度があったが、概ね、目標を達成できた。
140	計画推進・3 健全な財政運営	財政課	実質公債費比率	3か年平均	20.6%	18.0%未満	14.8%	13.5%	13.6%	13.4%	12.1%	148.8%	目標達成	18%以上になると地方債の発行の際、許可が必要となるため、持続可能な財政運営に心掛け、借金体質からの脱却に努めた。 前期の目標は達成できた。
	計画推進・4 広域連携の推進		なし											